

3類型	鉦工業品	通巻番号	4 - 21 - 037
地域資源名	伝統的工芸品(九谷焼)	認定日	平成22年2月16日
地域	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市町	所管省庁	経済産業省

事業名:九谷焼の技法を活用した食用野菜等育成キット「食卓菜園」の開発及び販路開拓

会社名:嶋田陶器株式会社

所在地:石川県能美市辰口町701

連絡先:TEL:0761-51-2045

H P: <http://www.kutanishimada.co.jp/>

FAX:0761-51-5238

事業概要(新たな活用の視点)

- ・九谷焼の技術を活用して素地の白度と強度を向上させた軽くて取り扱いやすいユニバーサルデザインの器と、野菜新芽を保持する保水性の高い発泡基盤等を組み合わせた室内用菜園キット「食卓菜園」(商願2009-055840)を開発。
- ・キッチンや食卓等で使用される製品であることから、食の安全性を考慮し、絵付けには無鉛和絵具を用いている。また、内部の水が腐敗して野菜種子が死滅するのを防止するため、器にナノ銀処理を施している。
- ・デザインや作業工程の工夫でコスト低減を図り、九谷焼をもっと身近に、もっと日常の生活シーンで使ってもらえるよう、求めやすい価格で市場へ提供する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・取り扱いやすさなど野菜等を水耕栽培する日常使いの卓上器としての機能に加え、プラスチック容器等にはない現代の住環境にマッチした装飾品としての効用を兼ね備えている。
- ・コスト低減、短納期化を図り、一定の量産化にも対応できる。高級で高価というイメージを払拭し、九谷焼製品を手頃な価格で提供する。

市場性

- ・近年の食品偽装問題などによる食品に対する安全・安心意識の高まり、団塊の世代の退職に伴う余暇時間の増加等により、ガーデニングとりわけベランダや室内における家庭菜園のニーズが高まってきている。

販路

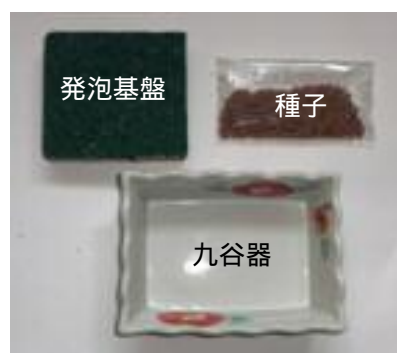
- ・展示会出展やホームページ等により商品PRを実施し、既存販路に加え、百貨店、グリーンショップ、園芸用品店等に販路を開拓し、事業後年度には、海外展開も図る。

地域における関係事業者等との連携

- ・石川県立九谷焼技術研修所とは人材育成等において、石川県工業試験場(九谷焼技術センター)、北陸先端科学技術大学院大学とは技術開発等で連携していく。



【食卓菜園】



【食卓菜園キット】